



帰国生受け入れ校・シンガポールのインターナショナルスクール・学習塾が語る 世界で通用する日本人の教育とは

2020年に大学入試教育改革を迎える日本。

シンガポールで暮らす日本人の子どもたちにとっても将来の進路を考える上で注目は大きい。
シンガライフは今回、宝仙学園理数インター校長とシンガポールにあるオーバーシーズファミリースクールの教職員による座談会を実施。
早稲田アカデミー国際部・田畑康氏をファシリテーターとし、各校の取り組みに加えて
今後、日本人の子どもたちが向かうべき道のりについて考えを聞いた。



■宝仙学園理数インター 富士校長

■早稲田アカデミー東京本部 国際課課長 田畑様

■Overseas Family School Adviser 西澤様

プロフィール&経歴

西澤 哲男 (以下、西澤)

Overseas Family School

(OFS)は、1990年設立
され、現在およそ70か国の国
籍を持つ約3000人の生徒
が在籍する幼稚園から高校
までのインターナショナルス
クールです。当校では校内テス
トを実施しており、その管理
運営を行っております。校内テストでは、生徒がどれだけ理解
できているか確認できるため、生徒の指導に役立ち、また、教
員の指導内容にも統一を図ることができるという利点があり
ます。以前は、日本での私立、公立の英語教員、アメリカでの大
学講師、カナダ外務省外国語研修所日本語科、オーストラリ
アでのESL、日本語教員を経て、広尾学園英語科主任をさ
せていただいております。縁があり、シンガポールのOFSに
赴任をして11年になり、授業をしないというところで、時
間的に柔軟に対応でき、日本の教育事情の知識を活かし、編
入時にお手伝いもさせて頂いております。



**宝仙学園理数インター校長
富士 晴英** (以下、富士)

宝仙学園は開校90周年を
迎えました。その中の理数イン
ターは12年目になり、その立ち
上げから携わり、4年前から
校長を務めています。以前の保
守的な仏教系の女子校から、
チャレンジングな学校に変えま

した。それにはまず、進学実績を出さないと話にならないと考
えました。早慶の合格者は出せました。しかし、現役で東大
が出せない。その理由は何か？と見直したとき、教え過ぎて
いたのです。国公立の二次試験というのは、センター試験の4
択とは違います。インプットしたものをただアウトプットする
のではなく、初見の資料からストーリーを考えて記述して行
かなければならないのです。考える習慣、姿勢がないと問題解
決能力は伸びません。そこで、生徒に時間を与え、考える時間
を戻さなければならぬ、生徒が飢えて寄ってくるまで教員は
手出しせず、待つことにしました。詰め込みや、やらされ感だ
けでは、生徒は伸びません。自立を促し、本気になるまで待つ。
そして、本気になってから生徒と教員が共同作業をすること
により、成果が上がります。進学実績を作るということは、
進学文化を作ることなのです。進学文化を作れば、実績はつ
いてきました。

**元早稲田アカデミー東京本部
国際課課長
田畑 康** (以下、田畑)

オーストラリアのシドニーに
2年半、マレーシアのクアラル
ンプールに5年間、父親の仕事
で済んでいたのも帰国子
女です。シドニーでは日本人
学校と現地校に通い、クアラ
ンプールでは、日本人学校に通
っており、27歳で早稲田アカに入社、その後自分の経験
を活かし、帰国生入試で困っている人がいる、海外でもっと勉強
したいということが分かっていったので、2005年から
ena Londonの校長2年間、その後 ena New Yorkの校長を
4年間、教室長を勤めました。現地校の生徒も日本人学校の
生徒もたくさんいて、現地でも頑張る子供たちにかつての自分



自身が重なりました。帰国生の入試に対する情報が少ないと
いう親御さんからの相談も多数ありました。帰国後の生徒の
指導もしようということになり、帰国後に横浜市に渋谷校だ
けだった、OFS国際部を約10年勤めました。その後、早稲田カ
でも国際課を作るという声がかり、現在に至ります。
日本の学校さんや、インターナショナルスクールさん、メディア
との繋がりを強めたいと思います。当社でも赴任前
セミナーを開いております。今年の夏のセミナーで、他の塾生も
含めて40組ご家族が見えました。インターの情報欲が強い、現
地の教育情報が欲しい、ということが、現地の情報発信源が必
要になります。塾の仕事は帰国生が日本の学校にどうや
ら合格できるかの指導になります。帰国生入試ならではの合
格ライン、グローバル入試、世界入試に対する情報、個々の学校
に対する受験情報を体系化して、シテしています。保護者会
では、それぞれの学校に対する合格ラインをお話します。
ある学校では、4年前までは英検1級を持つ受験してい
る生徒は100%合格していました。6年前までは準1級で
100%合格でした。今は1級でも1割落とされます。準1
級では3〜4割落とされます。こういう情報を塾は10年以上
データ化して全部持っています。このような受験情報を学校
関係者はシテして良いと思います。国内の学校の情報のネッ
トワークと、日本人の顧問の先生がいるインター校の情報がネ
ットで見られるわけです。教育業界の17化は進んでいて、会
議、授業、入試もスカイフで出来る時代になっています。
塾はそういう学校情報を与えると共に、結びつけて、競争
してもらおうという立場です。生徒に何をやらせて合格させて
いるかは企業秘密ですが。

【各校の特徴】

田畑 ■インターナショナルスクールというのはいろいろな種類が
あると思いますが、OFSはどの国系統で、どういう国の教育
母体をベースにしているか、というのはありますか？



西澤 本校の教育プログラムは、幼稚園では I E Y C (International Early Years Curriculum)、小学部では I P C (International Primary Curriculum) を導入しており、I E Y C と I P C の間は、国際アリーイヤーズカリキュラムといいい、2016年に施行され、現在世界47か国で導入されている2歳児から5歳までの児童に特化した国際教育課程で、I P C は国際初等カリキュラムとして、11歳までの児童を対象とした国際教育課程で、世界90か国以上で導入をされています。6年生から10年生までは、I B M Y P (国際バカロレア中等教育プログラム)、9年生、10年生では、英国義務教育修了制度を基盤とする国際的な教育課程である International General Certificate of Secondary Education (IGCSE) を併行しています。11年生、12年生では、I B D D (国際バカロレアディプロマプログラム) を実施しております。

また、9年生から12年生の高等部では、単位制もっており、A C W A S C (世界で国際認可団体の認可も受けているので、本校の卒業証書は、世界中で大学受験資格が得られます。つまり、この国にも属さない国際教育課程を導入しております)。

田畑 宝仙理数インターという名前に入められた意味はズバリ何でしょうか？

富士 算数、数学、サイエンスが好きという子はもちろんウェルカムです。ですが、理数系の子しかとらない学校か？と言ったらそんなことはありません。むしろロジカルシンキングという言葉を考えて時に、論理的思考力と訳すと平凡なので、「理数的思考力」というと、インパクトが強いので、なんですか？という人が出てきます。ロジカルシンキングは、理系だけに必要なのではなく、文系、芸術系、体育系、にも必要です。

第1線に立つ人間は、自分で考える力が重要です。そして、それをどうアウトプットするかが今の時代は大事で、コミュニケーション力、プレゼンテーション力が重要であり、身に付ける必要があります。なぜそれがインターなのか？ということについて、インテラクティブ、インターネット、全部コミュニケーション力、ということ、ロジカルシンキングに基づいたコミュニケーション力が「理数インター」に繋がる訳です。

実はそれはグローバルスタンダードです。今、聞く違和感を感じることはありませんが、12年前に立ち上げた時には、指導要領や中教審もまだそんなことは言っていない時代で、文部科学省がグローバル大学に支援、補助をするというのはいなかった、むしろ時代がキツチャップしてきたのだろ？と思います。結果として、コンセプトとして、良かったのだと思えます。

田畑 O F S はどんなお子さんに入学して欲しいとお考えでしょうか？

としての日本語が科目として履修できます。小学部、中学部では、週4時間、高等部では週3時間は、日本語のクラスで日本人の先生で、日本語で意思疎通をはかり、心の安らぐ時間を持てます。

最初の1歩を踏み出せるかどうかは、お子さん自身が学校は安全で楽しい所だと認識して、そだと思っているので、そういった面で、日本語で日本人の先生に話しつつ、次の1歩に踏み出せるのではないかなと思っています。このような特色は他のインターにはないかと思っています。

田畑 6年生で帰国して、中学受験をしたいのですけど、というご相談はありますか？

西澤 本帰国前に、どんな学校がありますか、という質問は、つい最近も受けました。ただ、我々が持っている情報は限ら

西澤 英語ができるできないに関わらず、基本的にシンガポールに駐在しているご家庭のお子様に乗っく安全にかつ効果的な教育を施しているという方針をお守りしておりますので、海外駐在のチャイルドを活かすインターで教育を受けさせたいという御家庭であれば、大歓迎です。

英語が全く出来ない状態からでも、個人差はありますがおよそ1年半で英語の授業にいていけるであろうレベルまで引き伸ばすプログラムを組んでおります。保護者さまの不安の声、「うちの子は英語ができないからどうしたらいいですか？」という声をよく聞きます。

本校は約70か国からの生徒さんをお預かりしておりますので、教職員も英語を母語としない人との意思疎通を確実に図る努力するという体制ができていますから、「不安にならずに」とお話ししております。

時として、「日本ではこうだったので、こうしてもらえます



れておりますし、受け入れ条件がかわることも多いので、ご家庭で見学に行くことをお勧めしております。

田畑 高校を卒業された生徒さんは、地元の新加ポール以外にも欧米やアジアの大学を目指すのでしょうか？

西澤 英国、北米、オセアニアの大学等、多岐にわたる進学しております。ただ、海外の大学に行くことは大変お金がかかることです。それぞれのご家庭の事情にもよるかと思いますが、日本人の生徒は日本の大学に行くケースが多々見受けられます。ある程度の知識があり、成績を修めた生徒は様々な進学先がひらけてくるかと思えます。

田畑 O F S の特色を一言で言うとなんてでしょうか？日本人学校にはない科目はある？という課外活動がある？

西澤 およそ70か国の生徒がいること、特定の国の文化に捉われない教育環境かと思えます。そのような環境で学んで行くと、これから世界に飛び立ち、世界で生き残れる力を養えることかと思えます。

田畑 多様性が民族構成、環境自体が大きな売りということなのですね。

西澤 もう一つはやはり、英語を母語としない生徒のための英語プログラムである S P P (スタディ・パブリケーションプログラム) があり、充実したサポートをしているということでしょうか。英語だけではなく他教科の内容を学びながら、無理なく英語による教育を受けていくだけの力を身につけられるということも定評があります。

田畑 宝仙学園では帰国生はどのように育ちますか？

実際グローバル時代では黙っていけば助けてくれるというのは無理な話

田畑 日本では、優しい気持ちで育てたお子さんのことを、恨ましくか、おとやかと美的なキーワードで表現します。でも、実際グローバル時代では黙っていけば助けてくれるというのは無理な話です。なぜ分かってくれないの？どうして先生は手を差し伸べてくれないのか？という最初の壁にぶつかつたお子さんの状況に、お母さんが悩んでしまうことがよくあるそうです。

ここでは、察しの文化ではなく、泣いていても分からない、自分から言わないと分からないということを教えるチャンスですよ。ね。もううちの子も O F S に通えば、シャイな性格が外交的になり、オープンマインドになるのではありませんか？という質問にはどうお答えになりますか？

西澤 本校には、およそ70か国からの児童生徒が在籍しておりますので、多様な文化背景のクラスのお友達と接することによって、オープンマインドになる糸口が、かめるのではないかと考えております。

また、幼稚園・高校3年生まで日本語の授業があります。1年生・5年生までは母語、中学生・高校生では、第一言語



座談会
第2部

帰国生受け入れ校・
シンガポールのインターナショナルスクール・
学習塾が語る

世界で通用する
日本人の教育とは



「アグレッシブな人ほど、
アクティブな人ほど、
活躍の場が広がっていく」

富士 本校は偏差値より学習歴でリクルートしたいという風に考えています。帰国生に対しても国内生に対しても同じです。特に帰国生の場合は、算数理科の4教科、さらに英語を追加での負荷がある受験を突破しないと名門校に入れないみたいなことではなく、肝心の貴重な少年少女時代の海外体験はどうやって評価されるの？となります。

むしろ魅力的な子供であったということでも十分な資質であると考えます。塾体験は体験のうちの一つで、その地ならではの体験、楽しみ方、貢献の仕方などが重要で、どうやら国籍の違う人達と友達になれるか、そういう先生の素材がストーリーになっている訳です。それを堂々と聞かせて欲しいですね。それがスクイープ入試導入の理由です。

自分のこれまでの学習歴を評価してくれる学校だと分かれば勇んで入ってくる訳だし、入ってきたら、自分が企画したから支援してもらえ、前例がないからダメだと絶対言わない学校だということを感じてくれる。そうするとアグレッシブな人ほど、アクティブな人ほど、活躍の場が広がっていきます。彼ら彼女らの体験が生きる場はたくさんあり、提起してくれるチャンスを提供し、アレンジも絡にします。やりがいのある学校だと思います。

田畑 保護者目線では、宝仙理数イタリは進学校なので、頑張つて勉強した成果ではなく、スクイープの面接入試や適性検査型の入試で入ってきた子が、本当に大学入試で勝てるのかという疑問や不安に対してはどうお答えされますか？

御校が重要だと掲げている、考える力や、行動力が結果的に大学受験のこの部分に繋がるという橋渡しのキーワードありますか？

田畑 保護者目線では、宝仙理数イタリは進学校なので、頑張つて勉強した成果ではなく、スクイープの面接入試や適性検査型の入試で入ってきた子が、本当に大学入試で勝てるのかという疑問や不安に対してはどうお答えされますか？

御校が重要だと掲げている、考える力や、行動力が結果的に大学受験のこの部分に繋がるという橋渡しのキーワードありますか？

田畑 掃除は輸出産業になると言われています。ジャイカ絡みでアラブの春で独立した独裁者が掃除と給食の文化を試験的に始めているらしいです。

富士 スリランカの現地校に行ったときに、掃除を取り入れていました。IICAが誇べき文化様式として、ジャバウエイを伝えるということをしています。例えば、挨拶の大切さです。僕は毎朝正門に立ち、挨拶をしています。やれと言われて見があるし、面白いです。挨拶つ距離が縮まりますよね。発見があるし、面白いです。突き詰めていくと面白いです。

また、正確的である、電車の時間が1分遅れて謝るは日本くらいで、正確性に対してプライドを持っている。そのように素晴らしいソフトコンタクトをたくさん持っているにも関わらず、そこが裏目に出ている。それはプレゼンテーションが苦手だから、学校でやっていなくなってきたらですね。だから、当校はプレゼンテーションの訓練をします。下手なうちからマイクを握らせると、まあなるのが早い。できないからクビクビしている、いまでもたつても上手にならないのです。自己肯定感が



富士 中学受験の親御さんたちには子供に勉強をやらせているからやる気が見えないから不安なんです。勉強がス

テムの有無や精密度を説明しないと納得しない。でも、お子さんが本気になっていない、ちなんだ？、1カウントです。12歳の段階で周りにせかされたからこまで来ませんというのと、せかされたからこまでしか来ませんというの、何の差もない僕は直感的に思っています。12歳の時の偏差値の差は、要領がいいか悪いかの差であり、本質的な差ではないと思っています。むしろ、12歳までとこまでのびのびさせてくれたのですか？それさえあれば、18歳の時に本気出しますよと思います。

本校のグローバルコース（英語がアドバンスの生徒は、少人数です。休み時間は英語で雑談し、ネイティブの先生も友達感覚で入ってきます。最後の最後は英語を勉強しなくて済むレベルなのですが、それ以外は日本の普通の進学校です。グローバルコースから、国立、医学部、理系の合格者が出るのです。みづちりとら日本型の受験勉強+身体に合わせた海外の英語の授業なので、結果が出るのです。

そういう意味では、当たり前前の時間割の中に合格マソッドを組み込まれているのです。プレゼンテーションというものに対して、他者の考えを傾聴できれば、自分の意見を率直に話すことを損ねないという育方をしています。純真な子供が違くてはのびのびとすくすく育って、進路を決めたパワが違、自力の方を鍛える学園です。その子が本気にならした時のパツアップシステムは、マパワーで、どんな補習が必要かということも話し合せて決めた上でのアレイショナルタイムです。

いろいろなタイプの教員がいて、補習をカスタマイズできます。本気になった時とみんなが幅広くとれただけ支援してくれるか

低いというのは日本教育の最大の問題です。下手なうち、未熟なうちからとんとんやらせて Good Job! New Chance! You are so smart! それは欧米から学ぶもので、そこでその気になつてもらうことと身に付けることができれば、日本の教育は望ましくグローバルスタンダードだと思います。

田畑 今のままだと、土儀にすら上がれない、ステージにささげられない、それが保守思想だと、海外に行かなくてもいいという人がいること否定はできません。でも、僕らが持っている物はグローバルコンテンツだと思うのです。日本人しか持つていない美徳があると思います。

富士 クールジャパンでちょっといい話みたいな捉え方をされていますが、そうではなく本質なのです。人間関係というものは、どうしても YES or NO では成立しない、それだと複雑な世界に入っていくには、

空気を読むというのは、複雑な世界に入る準備ができていますよという意味でどうしたのと察する文化、品のいい文化にプライドを持つべきであると思います。

田畑 日本人が欧米人になり発想を持つているというのは、ビジネスの世界にもあります。教育も輸出産業になりつつあります。例は公文です。公文は土着化しています。アメリカのごく僻地に読み書きが鋭い場所があり、それは公文があるからと言われている。また、日本の九九もお経のように唱えるだけでできるようになり、日本人は九九のおかげで天才！と海外で言われたりします。

ある程度の強制力、みんながやるからやってみようというところは全否定されることばかりではなく、公共心を育てます。あまり自由過ぎるいい結果を生まないこともあります。日本人の公共心や利他の精神は独特な感覚として、最後の皆であるか欧米の人から聞きます。

を楽しむまでいってくださいます。と言いたいですね。

田畑 目指すべき教育改革の流れは、子供の人生だから、偏差値や語学型の教育以外を重要視しようということです。勉強だけできても、メンタリション能力が低いではなく、御校のような教育システムが帰国生という存在が貴重となる訳ですね。

ジャバニーズスタンダードを
グローバルスタンダードに。
日本人として忘れてはいけないのは
他人を思いやる 利他の精神。

田畑 両先生の話聞きまして共通して思ったことは、日本の教育の弱点、日本には無い教育が1つの基準になつているので、宝仙学園では、公教育、他の学校にはない教育現場を提供したいところから、そのキーワードが多様性や表現力があると思います。突き詰めていくと、O.P.S.のようなインター校の欧米型の教育はもう何歩もリードしています。

だから色々なフィールドを牛耳る才能ある人がいて、その次に出てきているのはインド系だったり、中国系の人だったりします。日本人が世界に出た時に、日本人らしい強みはどこか？日本人らしい勝負どころはどこか？を考えた時に、全て欧米型にすれば勝てるかという訳ではないです。英語ではReal between the line 行間を読めと言います。子供の頃は読む、YES or NO で答えなさいという教育をします。でも、その後じっくり教養を積み、い大学に進みたい会社社に勤めている教員たちは、両方とも使っていて、ガサツな自己主張だけでなく優しい子なんです。日本人として忘れてはいけないのは、他人を思いやる、利他の精神だと思えます。

日本では、空気を読ん、以心伝心、ほどとする空間なのですが、欧米では考えられていることは言葉でしか表してはいけない、移民の大陸的な文化で YES or NO なのです。そこで、空

**IBが推進する
10の人物像には、
日本人の美德と
共通するものがある**

西澤 日本の教育が捨てたものではないというのはいつ最近日本人学校の事務長と話ししました。世界標準でやっているIB（国際バカロア）でIBの学習者像というものがあってのですが、それを見ると日本で教育を受けてきた自分が学校でいろいろと言われたことと変わらないと思います。日本ですべてきた、培ってきた物が、実は世界標準になりつつあるのです。

田畑 IBの10の人物像で、(3)に思いやりという項目がありますが、思いやりが大学に入る項目に必要であるか？日本では小さな頃から思いやりは大切だと教えられてきたことなので、でも、彼らは他人のことも見ましようということを実行しているというのです。



間力が足りていないらだと言っていました。例えばあなたは家のお手伝いを週に何回しますか？と聞かれた時に、受験勉強で

**日本の教育コンテンツは、
言語を変えて
世界に輸出できるもの**

田畑 日本の持つている物を可視化すべきだと思います。ジャイカさんが掃除や給食のシステムを発展途上国でやることにより、規範を学び親がいない被災孤児もコミュニティのために生きがいを見つけているそうです。それをいろいろなメディアで、例えば、シンガポールはそのアジア拠点になるような気がします。

富士 日本の教育コンテンツというのは言語を変えて、中身を変えないで輸出できると思います。ジャパンウェイというのは輸出可能で、それ自体がグローバルなのですよ、それを本家で味わってみたいという話です。

田畑 宝仙学園でしたら、卒業生が、私を育ててくれた学校の魅力を海外という時代が来ると思います。日本には外国人留学生労働者の流入時代が来ます。現在も労働ビザを中国系の人に出し、留学生がどんどん来ています。そして日本人が気に入った人は住みつき、国際結婚も増えます。学校や塾に、ブラジル系の人はいればいろいろな人種の人がいることが、もっと普通になると思います。

富士 開かれた学校というのを目指し続けていければ、そうなりますよ。

田畑 おそらく小学校、中学校がインター化してきますよね。特に今は大学が生き延びるために、留学生を引き受けて、政府から留学生に対して人頭いくらという補助金も出ています。帰国生の補助金もあります。留学生が押し寄せて来た時に備らができることは、プラットフォーム作りですね。

忙しかつたからできませんでしたということでは不合格になるのです。そういう世界観のものを伝えたいとこれからのスタンダードでは生きていけないのではないかと考えます。IBの10項目はスライドに映し出します。日本人に向けて、キーワードとしてはどうもいと思っています。

富士 日本には小さな頃のしつけがあり、それを学校教育が受け継ぎ、初等教育、中等教育の教育思想の体系的なクオリティーは圧倒的だと思います。ただその先の、敵対的な関係というのを主張し、持久戦に持ち込んで、巻き返しのチャンスを持っていくようなことになると、自覚的に学ばないとダメですね。この人は叶わないという人間の魅力を持つてしまたら日本人の方が強いですね。

**不必要な欧米化を
すすめる必要は無い**

田畑 明治以来、近代教育システムは欧米から輸入はしましたが、ベースには農民の質素な精神、武士道があります。90%いた農民は武士貴族になりたかった訳です。それが日本人の根拠であり、美德でもあると思います。それを取っ払い、欧米になれというのではなく、ただ舞台上に上がるためには欧米のルールで行こうぜ！というのは学校や塾の教育、メディアがその必要性だけは解き続けなければいけないと思います。

富士 我慢強さ、忍耐力というのは、固定的身分制度は長かつたので身につけています。我慢する必要があるか言いたいこととまで飲み込んで来た特性があるかと思えます。それと勤勉というのが、裏表になっているので、良さと消極性が一緒になってしまっている。ですから、僕はどうな生徒に入ってくるか？と聞かれた時に、明るく楽しく一生懸命と答えております。実はね、一生懸命というのは日本人みんなできるのです。真面目なのです。家庭教育で、あなたもと明るくやうたらいいよ

！とか楽しくやればいんだよ！と言いつつ続けられて来ないのですよ。ですから、明るく楽しくの方をより自覚的に言わなければならぬと思っています。一生懸命なのは身についているので、心配しないといくや、やる時に、たまたまから、それよりも明るくやろう、楽しくやろうということをや育てた方が上手にいきますよということなので。

田畑 それを育てる場としてのインターナショナルスクールなのかもしれないし、海外経験を大きなチャンスと捉えればと思えますね。僕らも受験の価値観をガラッと変えたいといけない時代になって来ています。当社でも中学受験をガガガやっていた時代もありました。今でも、明るく楽しくやっていたらダメです。でも、ちがう！と言つたら止めさせたい時代です。首都圏でも中学受験の率は20%くらいです。（公立の中高一貫を足しての数字です）

富士 5人に1人が受けるか受けないかの中学受験です。富裕層はそう言わないかもしれないですけど、それで教育エリート層ですよ、なんでそんなに心配な顔をしているのですか？幸せにならないとおかしい人たちですよ。なぜ幸せにならないか？と世間体に向われているからですよ。これだけの投資をしてリターンがなかったらどうしよう、これだけ苦労させて結果が出なかったら私が悪かったのではないかと暗いことを考えてはかりい。

田畑 塾の役割は大きいと思います。シンガポールも同じです。塾が多くあるから、駆られる訳ではないのですが、うちの子を比べてみようから、明るく楽しくがんばっているなら褒めてみようと親御さんもおっしゃるのですよ。

富士 学校、塾というのは教育しているじゃあないですか。偏差値が上がらない生徒は意味ないぞということはやらないですよ。子どもは人ひとりそれぞれに魅力があるんですよ。



西澤 哲男
Overseas Family School(OFS,Singapore) アカデミック・アナリスト。School for International Training (アメリカ合衆国)にて修士号取得後、日本の私立中高でも指導。現在はOFSで校内学力テストの管理、運営を行う。

田畑 康
早稲田アカデミー国際課長。早稲田アカデミーの複数校舎で約10年間勤務。早慶必勝クラスや校舎責任者を努めた後、6年間日系学習塾教室長としてロンドン・ニューヨークで勤務。

富士 晴英
2014年4月、宝仙学園国際数インター校長に着任。「自立した学習」をテーマとした指導で毎年高い大学進学実績を記録。全員参加のアメリカ研修や、希望制の語学留学など国際科プログラムも多数。